

和歌山

地域面3ページ

潮岬灯台(串本町潮岬)を望む



和歌山支局
 〒640-8154 和歌山市六番丁5
 和歌山第一生命ビル4階
 TEL073(431)1411
 FAX073(433)0650
 wakayama@mainichi.co.jp

【通信機関】
 橋本 0736(32)0063 新宮 0735(28)1751
 海南 073(482)0675 御坊 0738(22)2511
 湯浅 0737(62)2870 田辺 0739(26)1026
 【広告問い合わせ】 073(423)9291
 【購読問い合わせ】 0120-468012

★結★運★仕★
 星の占い
 マーク矢崎
 27日

アンテナの見える丘

絵と文・熱田親憲 題字・熱田秦華

熊野古道

みちのく

9

数年前、トルコを旅した際、串本には遭難救助に由来するトルコ記念館があり、日本とトルコの友好のシンボルとなっていることを

知った。機会があればと思っていたトルコ記念館を今回訪れてい

見晴らしのきく潮騒の森に立つと、ふもとに大きなアンテナのある家が目にとまり、防災

ARL)にアマチュア無線を通して地域の「防災活動で何かでき

ムクラブへどう呼びかけるか▽トルコのデジタルレピーター基地(設置済み)との国際

トルコとの相互交流さなかの1889年、トルコ皇帝は日本に友好使節団を派遣。翌年その帰国途中、700人近くを乗せた軍艦エルトゥールル号が、串本・檜野崎灯台近くで座礁した。紀伊大島の人々の献身的な救助活動にもかかわらず69人

現われた岡本さんにアンテナの取材趣旨を告げると、「丁度この地区のアマチュア無線の会合をしているので、長時間でなければ

②岡本さん宅に設置したデジタルレピーターの役割は、無線の電波を広範囲に広げ、さらにインターネットを通して、ハム仲間同士

私はエルトゥールル号遭難事故で救助の歴史をもつ串本町が、デジタルレピーター基地を中心に、防災モデル地域になっていけば最高だと思う。灯台が航海の安全のための灯

ハムで防災モデル地域に

の生存者しか得られなかった。村人の手厚い介護の後、明治政府は軍艦2隻で生存者を母国に送り届けたとある。記念館の上から座礁現場を見てその近さに驚き、もし当時、今

メンバーに聞いてくれた「さい」と、2階に案内された。潮岬ハムクラブ代表の矢野幸広さん、事務局の川崎紀久男さん、アマチュア無線の中継基地デジタルレピーターをもつ岡本修司さんが同席されて

の交信を地球規模で行うこと。ハム仲間はお互いに顔を知らなくても信頼が厚く、離れていてもすぐ友人になれる。見方によって、一番頼れるネットワークかもしれない。

今日は岡本さんのアンテナに導かれて、ハム仲間の心意気に触れることができ、近くの潮岬灯台も一層輝いて見えた。

やまれました。いや興奮ぎみに、もう一つの灯台・潮岬灯台に向かった。途中、マチュア無線連盟(J

①アンテナ導入は、4年ほど前に知事から一般社団法人日本アマチュア無線連盟(J

交換を救助活動にどう結びつけるか▽近隣のハ

(次回は12月11日に掲載します)